

5月未来寺子屋 おしながき（報告版）

5/18(土)

先進地視察 知多市岡田をガイドと歩く & 町並保存会と意見交換会 知多市岡田地区

先進地視察として知多市岡田地区に行ってきました。

ガイドボランティアさんのガイドで古き良き岡田の街並みを歩き、その後岡田町並保存会の代表の方を中心に意見交換会を行いました。

複合施設 SON 岡田 ダイニング・ピアカフェ・パン屋さんが入居しています。裏側のスペースはくつろげる本屋さんを入れる工事中でした。



SON 岡田からガイドスタートです。

5月とは思えない日差しが照り付ける中、1時間半の街歩きを楽しみました。やはりただ歩くのとガイドさんの解説付きとは理解度が全く違います。ガイドさんたちは岡田の特産品である知多木綿のユニフォーム姿でした。

←岡田の一番の写真スポットと教えていただいた風景です。

古き良き町並みが続きます。





築およそ 80 年の古民家を改装した、気持ちのいい2階スペースでの食事の様子。



ビール工場の軒先にあるかわいく剪定された木。別の日に来たときはこの木の前でウェディングフォトの撮影中でした。



自販機も景観に役買っています。



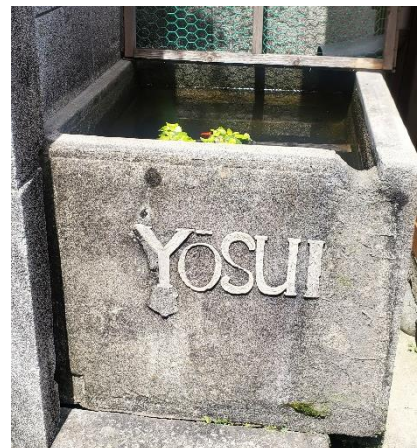
取壊しの危機を乗り越え、建築当時のままに郵便局として使われています。



町並み保存会の方との意見交換会の様子。



食事。これはチキンプレートです。



参加してみたかったです。



意見交換会では、保存会代表の竹内さまにお話をいただきました。発足20年を迎え、会員数は100名超(当初は38名)。

年間を通して、春祭り、七夕、地域の文化祭、研修会やガイド対応等、活発な活動を続けられています。また、行政に掛け合って、梅の時期には知多市の観光スポットである佐布里池との間にシャトルバスを走らせたり、文化庁のまちづくり補助金を活用したりもしています。

また、空き家問題を喫緊の課題として、若いメンバーをスカウトして問題に取り組んでもらう等、先を見据えた活動をしています。

にぎわい創出のための活動をしようとする、どうしてもイベントがメインになってしまい、イベント屋さんになってしまうことは悩みどころだとおっしゃっていました。ただ、イベントに地域の子もたちが参加したり、遊びに来ることで、子どもたちの中に岡田の思い出がしっかり根付いてくれ、成長しても岡田に愛着を持ち続けてくれるような活動ができれば、保存会として成功なのではとおっしゃっていたのが印象的でした。

未来寺子屋でも若者や子どもたちに向けたアプローチは課題です。今年度は桜井地区の小中学校に働きかけて、協働でさまざまな活動をしていきたいと思っています。アイデアを出し合って思い出に残る、今後につながる活動を目指します！

🌀 次回の未来寺子屋 🌀

次回未来寺子屋は6月15日(土)9:30～。

会場はいつも通り旧神谷家住宅です。

内容は、

・夏のきょうえんいちについて

進捗や当日のお手伝い等

「命のまつり」と共同開催、全ての命を大切にすることをコンセプトに七夕(7/7)に行います。

・学校との連携について

桜井中学校さんと協働で今年度も盆踊りを開催します。ぜひご協力ください！

今年度は桜林小学校さんとも活動予定です！

